



エクリプスクロスPHEVデビューへ

PHEV技術で先行する三菱自動車に要注目!

エクリプスクロスにPHEVが追加



デザインを一新したエクリプスクロスPHEV。

EVをはじめプラグインハイブリッドでは他社に先行する技術を開発・発売してきた三菱自動車が、今般エクリプスクロスPHEVの発売を発表しました。

三菱自動車としてはアウトランダーに続くPHEV車でエクステリアも一新、スタイリッシュなフロントフェイスが特徴です。ハイブリッド燃料消費率16.4km/L、EV走行換算距離57.3km/L (ともにWLTCモード) と燃費効率を高めました。一方、同車のスペシャルサイトでは三菱自動車がこれまで培ってきた輝かしいモータースポーツの歴史を元にエクリプスクロスPHEVの開発を進めてきたことを発表、エクリプスクロスPHEVがそのDNAに基づき開発していることを示唆しています。

発売日は2020年12月を予定、SUVの新たな可能性を広げる1台の発売は今から待ち遠しいです。

現行のエクリプスクロス。PHEV車は重心が低くなることで、よりスポーティな走りが期待できます。

脚光浴びるPHEVの災害時給電

一方、プラグインハイブリッド車は、今新たな視点から脚光を浴びています。多発する自然災害などで電力の供給がストップした際にクルマに蓄えた電気を家庭で使うことができるシステムがEVを含むプラグインハイブリッド車に備えられているからです。これはV2H (Vehicle to Home) と呼ばれるシステムでV2Hに必要な機器を介して、家庭に給電を行います。また車内にある室内コンセントを使えば家電製品の常時使用が可能。家庭への給電だけでなく、避難所などで電力を直接的に使用することができます。

三菱自動車にはi-MiEVをはじめとするEVからアウトランダーPHEVまでV2Hに対応したクルマが多くラインアップされています。アウトランダーPHEVによる一般家庭への給電はエンジンによる発電を組み合わせれば、最大10日分を行うことが可能です。



バッテリー容量の大きいアウトランダーPHEVは国産車の中でも特に給電量が多いプラグインハイブリッド車です。



アウトランダーPHEVの給電イメージ。



車内に設けられた100V AC電源。

東京海上日動のおクルマ購入サポート制度をご利用ください。

自動車販売店へご訪問する前にご相談ください。